

成長を望むあなたは
内観を常としてください。

CLVB

yumi

人は内観まるごとある
今の自分をみめることか
大事です。昔の時はモヤース!!

2016年8月8日

内観して自分を知ることです。
短所は注意し長所を盛んにしてください。
私は「自画自賛」という言葉が好きです。
あくまでもおかしい..と言うが「私は引き続き..」
なかなが「自由自賛」できる人生は歩めんぞ。
自由自賛には連鎖が必須だ。

自らが自ら見られ
自らに勝てしめ

自らに感謝され
ござったる

まずは

人をだ

自分も

お名前

ゆう代表取締役社長

安部 あゆみ

「社員ひとりひとりの成長があつて会社全体が成長します」



『社員はコストでなく財産です』と語る安部社長

愛知県下に美容室一四店舗、エステサロン五店舗を展開する『ゆう』。岐阜で創業して五〇年、社員二二〇人の大所帯をまとめるのが就任七年目、一代目社長の安部あゆみさんだ。今回は社員教育やマネージメントについて伺った。

「『ゆう』はあんな厳しいのに、これを貫いている。

どうして社員が辞めないの? とよく聞かれます」と安部社長。新卒で採用された人が、大卒で三割、高卒で七割辞めるという時代である。

「一流と言われるサロンを皆で作り上げるのが私の夢なのです。そのためには、本物のプロを育てなくてはなりません。ですから厳しいことだつてどんどん言います」と安部社長。

そのプロセスは入社前の「面談」から始まる。「ゆう」に興味のある人が、入社するかどうかを判断するために、会社を「面談」する。安部社長は、美容学校に赴いての就職ガイダンスでも、「面談」の際も、「入社したら楽しい事ばかりだよ」というような甘い言葉は言わない。周囲には「そんな厳しいことを言つたら誰も入社して来ない」とも言われるが、

「『ゆう』と『面談』した人が、『この厳しさなら納得できる、頑張れる……』と決意できれば、入社しても長続きするのです」と安部社長。

「求人とは、労働者を雇うということではなく、理念を共有し共に生きていく仲間を募ることなのです」と語る。その後、初めて一般の会社で行う「入社面接」が行われ採用が決まる。

安部社長は入社式の際、こう宣言する「面談の時、『ゆう』は一流になる、そのためには本物のプロになりたい人しか要らないと話しました。散々厳しいこともいいました。それでも我が社を選んでくれた。私も皆に約束します。全力で皆を育てます」。

今的新入社員は安部社長の息子さんと同世代である。「親代わりになり、より多くの子(安部社長は社員を子という)たちが羽ばた

ける舞台作りをしたいのです」
だからこそ愛を持って社員を育てる。「厳しいのと冷たいのとは違う。厳しい中に温かさが必要なのです」と安部社長。「ゆうが厳しい理由は『自分の内面と向かい合いたいなさい』と育てるから。人と

向き合うのは簡単ですが、自分と向き合うのは難しく厳しいことです」
社員は、なぜ厳しくされるのかが理解できれば頑張ろうとする。安部社長は店長には「店の子には真実を曲げず、ストレートに伝えなさい」と教えている。そうすることで「厳しく言うのは傷つけるためでなく、一流のプロの道へのサポートするため」だと社員に伝わっていくのである。



「ゆう」は「居心地の良さ」を大切にした店づくりを行っており、大高店も一見、美容院に見えない外観である

それでもメッセージを受ける側には個人差がある。そこで、うまく受けとめられる「豊かな感性の子」に、メッセージを送り続ける手法をとる。すると上手にキャッチされたメッセージが、別の方に伝わり周囲がどんどん変化していく。その環境の変化

に身を置くことで全員が変わつていくのである。「静かな湖に石を投げ込むと、水の輪が広がっていくのと同じです。リーダーの役割は、石を投げムードメントを起こすことですね」

こうした努力が実を結び、全社員で行う全体会では、感謝の言葉が飛び交うようになつてきた。「社員の中に良い輪ができる、良いエネルギーが湧き上つてきていると感じています」

「社員はコストでなく財産です。ひとりひとりの成長があつて会社全体が成長します。社長と社員は理念を共有し、我々の心と技をお客様に提供していくのです」と安部社長。これは実父の渡邊佑二氏（初代社長・現会長）の「理念の共有。ここから組織が始まる」という教えがベースにある。

「私たちが大切にしている理念。それを『サクセスマインド』と名付けています。『ゆう』という組織を一言で表せと言われたら、この『サクセスマインド』を共有した組織」と表現するでしょ

うです」と安部社長は「ゆう」の将来をこう語る。

「時代とともに政策は変化していきますが、今の政策もその考え方はずすべて、この『サクセスマインド』をベースにしています。父は素晴らしい経営者です。社長をやればやるほど、その素晴らしい経営者です。丁寧に育て、社員とともに未来に向かって挑戦し続けたいと思いま

す」となっています。『仕事に人生に

裸でぶつかれ。眞実ほど強いものはない』『感謝の心を持つ。すべては感謝の心から始まる』など、どれも父が歩んできた中で大切にしてきた言葉ばかりです。だからこそ、それぞれの言葉に父の血と汗と涙がこもっている。魂がこもつている言葉だからこそ、時代を超えて今もなお我々を支えてくれる。父が私に教えてくれた経営者としてのものの考え方、すべてここにあると言つていいぐらいです」

